

株式会社 H.F.T
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日: 2025年9月12日

株式会社北洋銀行
江別中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社 H.F.T	
代表者名	大場 博勇	
所在地	・ 本社	江別市萌えぎ野西 17 番地の 3
	・ 南幌事務所	空知郡南幌町南 10 線西 14 番地
資本金	500 万円	
従業員	14 名 (2025年8月現在)	
業種	一般貨物自動車運送業	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小麦・小麦粉運送 ・ 一般雑貨運送 	
沿革	2007年 2010年	当社設立 南幌町に事務所を移転

■ 南幌事務所



出所: 株式会社 H.F.T 提供資料

2. 社訓

社名:H(Hokkaido)、F(Flour mill)、T(Transport)

社訓

すべての人・物に感謝し人間力を高める

- ・ すべてに感謝する心を持ち、その心を行動に表すことで、自らの人間力を磨き信頼される人・会社を目指していく。

3. 事業概要

株式会社 H.F.T は、北海道江別市に拠点を構える運送業者であり、長年にわたり江別市から小麦および小麦粉の配送業務を中心に事業を展開している。

江別市は石狩管内でも有数の小麦産地であり、中でも有名な品種が「ハルユタカ」である。高品質である一方で栽培が難しい品種であるが、雪が降る前に播種を行う「初冬まき栽培」が普及し、安定した収量を確保することに成功している。「ハルユタカ」のほかにも、他収量品種の「きたほなみ」やパン用超強力粉に使用される「ゆめちから」、国産小麦と西洋小麦のハーフである「キタノカオリ」といった多くの品種が生産されており、麺やパン、スイーツなど様々な形で消費者へ供給されている。

当社の道内各地への日々の配送量は 200 トン規模にのぼり、製品の品質保持のため万全を期した輸送体制を構築している。

4. 安全への取組

当社では「安全はすべてに優先する」という理念のもと、徹底した安全運転管理体制の構築に努めることで長年の経験と実績に裏打ちされた信頼性の高いサービス提供を継続し、地域社会の「安全」「安心」「安定供給」に貢献している。近年では業務のシステム化による配送の効率化にも注力しており、人的ミスの低減、車両稼働状況の最適化に取り組むとともに、自社の CO₂などの温室効果ガス排出量を測定・管理することで環境負荷の低減にも積極的に取り組んでいる。



← 走行データを記録した車両レポート。当社では、全車両にドライブレコーダーおよびデジタルレタコグラフを搭載し、走行データの分析を通じて安全意識の向上と運転行動の改善を図っている。また全ドライバーに対して、定期的な安全講習や実車を用いた運転指導、危険予知トレーニングを実施し、事故の未然防止に取り組んでいる。加えて運行前後の点呼・車両点検の徹底を通じて、法令遵守および整備状況の可視化にも取り組んでいる。

出所：株式会社 H.F.T 提供資料

5. 保有車両

当社では輸送する製品の特性に応じて最適な配送を実現するため、専用設計の特注車両を多数保有しております。現在は小麦専用車両および小麦粉の輸送に特化したバルク車を含むトラックを計 15 台運用している。小麦専用車両は業務効率化の観点から特注架装することで複数の小麦を最大 4 品目同時に輸送可能となっている。バルク車にはエア式排出システムを採用し、人の手を加えないことで粉体の品質と積載効率の向上を実現。また、全車両には GPS 運行管理システムを搭載しており、走行状況や配送進捗をリアルタイムで管理することで、正確かつ効率的な物流サービスの提供を可能としている。こうした業務の効率化は、社内の働き方改革にも直結しており、社員の有給休暇取得率の向上やワークライフバランスの実現にも貢献している。

今後は事業活動による環境負荷の低減にも貢献するため、省エネ型車両や低排出ガス対応車両の導入を順次進めていく予定である。これからも、「効率化」と「環境配慮」の両立を追求しながら持続可能な物流体制の構築を目指していく。

■ 保有車両一覧

車種/ヘッド	所有者	台数	車種/シャーシ	所有者	台数
いすゞ10t ウイング	所有	1台	日本フルハーフ	所有	1台
いすゞ10t ウイング	リース	2台	日本トレクス	所有	1台
UDトラックス10t 平ボデー	所有	1台	トレールモービル	所有	1台
いすゞ10t 平ボデー	所有	1台	東邦車両	所有	2台
三菱10t バルク	所有	2台			
いすゞトラクタ	所有	1台			
UDトラクストラクタ	所有	2台			



特注架装をしているトレーラー（左）とトラック（右）。荷台に仕切りが設けられており、トレーラーは最大 4 品目、トラックは最大 3 品目を同時に輸送することができる。



バルク車（左）は製粉後的小麦粉を輸送。エア式排出システムにより人の手を使わず製品輸送が可能。ウイング車（右）は袋詰めされた製品（小麦粉）を輸送する為に活用している。

出所：株式会社 H.F.T 提供資料

6. サステナビリティ目標

株式会社 H.F.T の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 H.F.T の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社 H.F.T のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。